

平成 26 年 1 月 20 日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオファーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号：4588)
問 合 せ 先 管理担当取締役 六反田 靖
兼 経 理 部 長
(TEL. 03-5472-1578)

科学技術振興機構（JST）「A-STEP シーズ顕在化タイプ」採択に関するお知らせ

この度、当社と金沢大学の共同研究「改良型組換えアデノウイルスを用いた簡便な子宮頸癌早期診断システムの開発」が、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の「A-STEP平成25年度第3回公募FSステージ シーズ顕在化タイプ」に採択されましたのでお知らせいたします。

当社と金沢大学の共同研究は、末梢血を用いた子宮頸癌の早期診断システムの開発を目指すものです。今回採択されたプログラムにおいて、当社が開発を進めるOBP-1101（テロメスキャンF35）で子宮頸癌起源の血中循環癌細胞（CTC：Circulating Tumor Cells）の検出を行い、単離回収後のCTCに対してヒトパピローマウイルス（HPV）の遺伝子検査を実施することにより、子宮頸癌の確実な診断を実現させるために研究開発を行ってまいります。

子宮頸癌はHPVの持続感染により引き起こされ、患者の90%以上でHPVが検出されることが知られています。子宮頸癌は早期発見により完治が見込めますが、日本では検診受診率が低く死亡率が高い状態にあります。従来の子宮頸癌検診は子宮頸部の細胞を採取する必要がありますが、血液検査による簡便かつ高感度な子宮頸癌検診が実現されれば、受診率向上による早期発見率の向上が期待できます。

A-STEP（研究成果最適展開支援プログラム）は、社会経済や科学技術の発展、国民生活の向上に寄与するため、大学や公的研究機関の優れた研究成果の実用化を通じた、イノベーションの効率的・効果的創出を目的とした技術移転事業です。本プログラムにより、助成対象研究期間（平成26年2月1日から平成27年1月31日）に当社は研究開発のための助成金として605万円を受領する予定です。

なお、本件による影響は平成 26 年 2 月 14 日の決算発表時に公表する業績予想に折り込む予定です。

以 上